

## 口腔顔面痛エキスパートセミナーのお知らせ(募集案内)

2018年11月7日

日本口腔顔面痛学会セミナー企画運営委員会  
口腔顔面痛エキスパートセミナー担当委員長:村岡 渡  
同担当副委員長:臼田 頌

口腔顔面痛の最新かつ高度な知識、診断、治療までを臨床診断推論実習を通して習得することを目的にした臨床に即した内容を学ぶことができるセミナーです。頭痛の知識も含めた幅広い口腔顔面痛を生じる疾患の診断と最新のガイドラインや薬物療法を踏まえた治療法立案までを学びます。国際頭痛分類もIHCD-3betaからICHD-3へ変更になり、定量感覚検査も保険導入されました。これらの理解も深め、臨床に活かしましょう。

**【会期】2018年12月9日(日) 10:00~16:00**

(9:30 受付開始、終了時間は若干変更の可能性あり)

**【会場】慶應義塾大学信濃町キャンパス 新教育研究棟2階講堂**

**【募集人数】20~25名の予定 (4~5名で4~5グループの予定)**

**【受講資格】**

日本口腔顔面痛学会会員に限ります。初めて受講する方は、口腔顔面痛診断実習セミナーを修了していることを推奨します(修了していなくても当セミナーの受講は可能です)。

**【認定単位】**

本セミナーは、日本口腔顔面痛学会認定医、専門医等の申請要件および資格更新の単位付与の対象となっています。ただし、認定医および専門医の申請要件の受講を要する講習の「診断セミナー」には該当しません。

合計 5.0 単位

- ・病理薬理分野 1.5 単位
- ・口腔外科分野 1.0 単位
- ・歯科補綴分野 1.0 単位
- ・ペインクリニック分野 1.5 単位

また、日本歯科医師会の生涯研修としての単位も認定されます。

**【受講料】**

12,000円(お弁当、飲み物はこちらで用意いたします。)

納付された受講料は原則としてお返しいたしません。

**【申し込み方法】**

受講ご希望の先生は、**2018年11月26日(月)まで**に日本口腔顔面痛学会事務局 担当：臼倉までメールでご連絡下さい。

メールアドレス：[jsop-service@onebridge.co.jp](mailto:jsop-service@onebridge.co.jp)

メールの受け取り後、ご案内メールをします。5日経過後もご案内メールが届かない時は再度メール頂くか、一ツ橋印刷株式会社学会事務センター内、日本口腔顔面痛学会事務局 担当:杉崎 TEL: 03-5620-1953 までご連絡下さい。参加費は事前振り込み制となり、振り込み確認後、受付完了となります。実習の準備のため当日申し込みは受け付けません。(申し込み期間内であっても定員に達し、受講できない場合がございます。)

### 【予定プログラム】

9:30 受付開始

10:00 セミナー開始、講師紹介

10:10-10:20 プレテスト

10:20-10:30 臨床診断推論実習症例提示(講義 10分:西須大徳)

10:30-10:55 国際頭痛分類(ICHD-3)における Trigeminal Neuralgia について(講義 22分、質疑応答 3分:野間昇)

10:55-11:20 非歯原性歯痛の診断に必要な頭痛の知識(三叉神経自律神経性頭痛を中心に)(講義 22分、質疑応答 3分:大久保昌和)

(休憩 10分)

11:30-12:10 臨床診断推論実習(実習 40分:ファシリテーター8名)

12:10-12:20 症例解説(講義 10分:西須大徳)

12:20-12:30 午前総合質疑応答・講師・ファシリテーターコメント(10分)

(休憩・昼食 60分)

13:30-13:40 臨床診断推論実習症例提示(講義 10分:村岡渡)

13:40-14:05 定量感覚検査の解釈と神経障害性疼痛の診断(講義 22分、質疑応答 3分:今村佳樹)

14:05-14:30 神経障害性疼痛の薬物療法の各種ガイドラインの解説(講義 22分、質疑応答 3分:和嶋浩一)

(休憩 10分)

14:40-15:20 臨床診断推論実習(実習 40分:ファシリテーター8名)

15:20-15:30 症例解説(講義 10分:村岡渡)

15:30-15:40 総合質疑応答・講師コメント(10分)

15:40-15:50 ポストテスト

15:50-16:00 ポストテスト答え合わせ

16:00 単位登録、セミナー終了予定 (合計 6時間の予定)

### 【参加予定講師およびファシリテーター】(50音順)

飯田崇(日本大学松戸歯学部)、石垣尚一(大阪大学)、今村佳樹(日本大学歯学部)、大久

保昌和（日本大学松戸歯学部）、西須大徳（愛知医科大学）、築山能大（九州大学）、野間昇（日本大学歯学部）、村岡渡（川崎市立井田病院）、和嶋浩一（慶應義塾大学）